

# Worker's club news

発行場所  
 えちご上越農協労働組合書記局  
 〒943-0154  
 新潟県上越市稲田4丁目5-15  
 (えちご上越農協上越支店内)  
 Tel 025(523)9798  
 Fax 025(523)7733  
 mail nsej@af.wakwak.com  
 URL http://www.workers-club.com

## えちご上越農協労働組合 2002/06/22(土) “第2回定期大会開催”

### ”02”活動方針及び本年度予算ならびに、新役員決定！！

農家に喜ばれる、働きがいのある仕事・職場、農協をつくろう！

第2回定期大会 議案・資料集



2002年 6月22日(土) 9:00~12:30  
 上越市民プラザ

えちご上越農協労働組合

**去**る6月22日(土)、「上越市民プラザ」を会場に、午前9時00分より各地区選出の代議員及び来賓、大会関係者を含め約100名の出席で

えちご上越農協労働組合 第2回定期大会”が開催されました。

大会議長として西山修二(上越経済センター)さん・飯吉久巳(中郷支店)さんの2名を選出、布施執行委員長あいさつの後、来賓として農協労連より荒井書記長・上越地区労連より本間議長の両名から祝辞と連帯の挨拶をいただきました。

第1号議案として、活動経過報告と本年度の運動方針(案)が委員長より上程され、運動を進展させて行く為の基本的課題が整理され、農協運営の基本姿勢を変えて行く上で、そこに動く我々職員はもとより地域住民や農家組合員を含めた合意形成が不可欠であること、労組としても各事業別の検討会を積極的に行った上で農協運営に積極的に参加できる力を身に付けなければならぬとまとめられました。

(以下 定期大会議案より)

**2002年度 運動方針**  
 (1) 基本的な課題  
 農協運営の基本姿勢を変えていくこ

とを通じて、今の局面を打開し、見通しを切り開いていく合意を、地域住民・組合員の間にも、また、労働者の間にも、つくりあげていくこと。

農協の基本姿勢を変えていく力、地域と職場につくっていくこと。そのために、労働組合の組織と運営を前進させ、今の局面に見合った力と体制を確立していくこと。

(2) 具体的な取り組み  
 農協の組織と事業のあり方にかかわって、農家組合員の要求を基本にすえた検討を深め、今の問題点を明らかにし、積極的な改革の方向を示していきま

す。また、農家組合員との合意をつくっていくことをめざし、取り組みをすすめます。

「営農・販売事業」検討会の取り組み強化  
 提言活動、理事・農家組合員・組織との懇談・聞き取り活動

旧農協の枠を越えて、一つの労働組合として合意をつくって力を発揮していける、また、職場一人ひとりの間に責任を負える労働組合を職場からつくっていくよう、取り組みをすすめます。

### 活動報告 2002/06/22 ~

- 6・22(土) 労組第2回定期大会 (市民プラザ)
- 6・25(火) わかば青年交流会第2回準備会 (大島支店) 8名出席
- 6・28(金) 農協労連第9回中央執行委員会 (長岡) 2名出席
- ” 国民平和行進引継ぎ (直江津) 小林秀司
- ” 上越青年交流会第2回準備会 (労組書記局) 4名出席
- 6・29(土) 国民平和行進 (直江津~高田) 8名参加
- 7・1(月) Aコープ安塚店臨時労組員と懇談 (Aコープ安塚店)
- 7・3(水) わかば青年交流会第3回準備会 (浦川原支店) 7名出席
- 7・8(月) 頸北青年交流会第3回準備会 (頸北地域本部) 7名出席
- 7・9(火) 夏期要求第1回団交 (本店) 8名出席
- 7・11(木) 上越青年交流会第3回準備会 (労組書記局) 4名出席
- 7・12(金) ~ 13(土)  
 農協労連第39回定期大会 (弥彦温泉) 15名参加
- 7・16(火) 第1回中央速攻委員会 (上越地域本部) 22名出席
- 7・17(水) 夏期要求第2回団交 (本店) 11名出席
- ” わかば青年交流会第4回準備会 7名出席
- 7・20(土) わかば青年交流会 (菖蒲高原)
- 7・22(月) 上越青年交流会第4回準備会
- 7・23(火) 夏期要求第3回団交 (本店)
- ” 第2回中央執行委員会 (上越地域本部)
- 7・25(木) 農協労連第2回中央執行委員会 (長岡)
- 7・26(金) ~ 28(日)  
 第44回自治体学校 (長野県)

### 本年度予算について

収入として正職労組員より本人給の1・5%・月給臨時職員より、同0・75%。(内訳は裏面に記載)

支部会議の定例化、支部活動費の支出ブロック・支部・分会の体制整備・強化、本店支部の確立

「労組員拡大月間」の設定(6~7) 臨時・パート労組員交流会の開催、組織拡大、部会の設立

青年交流会(新採用歓迎兼ね)開催、青年部の設立

ブロック別交流会の開催、全労組員交流会の検討

速報、ニュース、インターネットの活用等、広報活動の強化

一つした取り組みの担い手をつくり、運動を持続的に前進させていく体制をつくっていくために、学習の場、また、地域や農家組合員の状態をとらえることができる交流・検討の場をつくっていきます。

「労働組合セミナー」の開催

えちご上越版「地域・農協づくり交流集会」の開催 (以上、運動方針より)

日給・時給者より、一律500円(昨年同額)の徴収をし総額3,000万の収入を見込み(前年対比400万の減)支出として全体には緊縮としながらも、特徴として組織対策費に重点がおかれ、(総額720万収入の25%)組織強化に軸足を置いた配分となっている。

内訳として、全労組員一同に会した大交流会の実現に向け 150万 支部・ブロックでの活動強化のため、支部ブロック運営費として 420万(各支部会計に振り込み、組織強化の為、利用してもらっ)青年部立ち上げに向け青年・女性対策費として 100万(今年度中に組織化を予定)臨時・パート対策費として 50万(学習交流会を開催予定) などとなっている。

又、旧上越農協労組からの借り入れも当初3カ年で返済予定を2年繰り上げた中で特別会計に繰り入れ 1,670万の闘争資金を持つに至りました。(執行部内では最低5,000万の闘争資金が必要として単年度ごとの繰越金を充当する予定)

本部と支部とのつながりと運動の担い手育成の為、中央執行委員の増員も労組役員33名体制で本年度の労組活動を執行すべく新体制の選出もされました。



ついに、某有名検索サイトで我らの”Worker-s Club”が掲載されました！めでたい  
 みんな Don Don アクセスしよ~！ (アクセク じゃないヨ・・・サブ~ウ(寒~))





（右下写真）は、本年十月中に立ち上  
 運動の展開が不可欠と訴えました。  
 次期に発言に立つた飯田厚生部長  
 ら合併後の変化と矛盾点を指摘、  
 農家組合員との連帯を基軸にした  
 真）からは、営農指導員の立場か  
 小野田賃金労務対策部長（左写

第39回新潟県農協労働組合連合会（農協労連）定期大会 開催  
 日時7/11（金）～12（土）会場 弥彦温泉 ホテル「みのや」  
 えちご上越農協労組より延べ20名参加

去る7月  
 1日（金）の  
 21日（土）の  
 2日間、新  
 潟県農協労働  
 組合連合会”第  
 39回定期大会  
 が弥彦温泉を  
 会場に開催さ  
 れました、一  
 ○〇名を越え  
 る全県の農協  
 労組の仲間が  
 一同に会し農  
 協労連の旗の  
 もと互いの連  
 帯を確認し、  
 運動方針に  
 沿って課せら  
 れた難局を打  
 破すべく決意  
 を新たにしま  
 した。



また、布施執行委員長から、昨年  
 度のえちご上越農協労働組合の総括  
 と、そこに見えてきた課題に対する  
 運動方針（前頁中段）に対する決意  
 表明をし、全県の仲間の連帯を訴え  
 ました。

各分散会では、それぞれの単組が  
 抱えている問題を出し合い、成果主  
 義による課題が抱える問題や購買事  
 業の別会社化の流れ（本年9月より  
 十日町農協では自動車部門の別会社  
 化へ移行）など農協総合商社化の動  
 きに労組はどう対応できるか白熱し  
 た議論が交わされました。

記念講演では「小泉『構造改革』  
 に対抗する地域づくり職場づくり」  
 を題に、都留文科大教授 後藤道  
 夫 先生（著書「反「構造改革」青  
 木書店 他）の講演もあり、世の中  
 の大きな流れに対抗する力は協同組  
 合や農協労働組合運動に期待するも  
 のが大きいとお話を聞き、参加者  
 一同深い感銘を受けました。

大会一日目の日程終了後の懇親会  
 にて、当労組に隣接する「JAひす  
 い」の仲間から「次回の交流会は糸  
 魚川で」との熱いラブコールに参加  
 役員一同、快く承諾し今後の他労組  
 との活発な交流へと動きが加速して  
 きました。まさに共感と連帯の定期  
 大会となりました。

2002年度 役員名簿

役職名	職場名	氏名	生年月日
中央執行委員長	専従（上越営農生活セ）	布施 辰夫	33-1-4
中央副執行委員長	頸北営農生活センター	山田 善幸	38-1-13
中央副執行委員長	浦川原物産館	松内 厚	
書記長	頸南営農生活センター	豊田 聡	
財政部長	農機センター上越	木藤 稔	32-12-3
賃金労務対策部長	頸南営農生活センター	小野田和茂	
農業農協対策部長	頸北営農生活センター	平田 秀雄	40-3-28
文化厚生部長	ライフサービス	飯田 直哉	
県農協労連中執	中央支店	小林 秀司	32-5-28
中央執行委員	わかば経済センター	飯田 達雄	36-6-12
中央執行委員	菱里支店	秋山 淳	48-7-30
中央執行委員	わかば営農生活センター	江口 文子	
中央執行委員	大島保倉支店	秋山 良巳	
中央執行委員	柿崎給油所	長井 賢	
中央執行委員	柿崎支店	湯本 健一	43-7-29
中央執行委員	営業課大潟支店駐在	藤縄富士男	38-1-30
中央執行委員	吉川給油所	佐藤 浩一	40-1-1
中執兼組織対策部長	西福島店	小嶋 悟	36-7-5
中央執行委員	頸北営農生活センター	小泉 浩蔵	41-2-21
中央執行委員	八千浦支店	山田 謙	49-5-29
中央執行委員	上越営農生活センター	山口 崇	52-6-2
中央執行委員	営業課津有南部支店駐在	小林 栄樹	43-12-26
中央執行委員	ライフサービス	吉住 康宏	
中央執行委員	農機センター上越	斉藤 嘉文	49-10-24
中央執行委員	和田支店	内藤 彰	
中央執行委員	営業課牧支店駐在	西條 昭一	28-3-30
中央執行委員	頸南経済センター	長尾 美明	
中央執行委員	新井支店	瀬戸 伸也	54-8-24
中央執行委員	泉支店	関原 幸博	
中央執行委員	寺野出張所	小林 力	26-1-27
中央執行委員	頸南営農生活センター	安原 修一	
中央執行委員	中郷支店	飯吉 久巳	52-2-11
中央執行委員	カーセンター南自動車整備工場	見波 亮	
監査委員	上越営農生活センター	米川 尚登	
監査委員	農機センター上越	丸山 嘉作	

《よろしくお願いたします》

布施 辰夫 皆さんの貴重な組合費を糧に、専従の委員長として二期目をやらせていただきます。見通しのもてる仕事、職場を皆さんでつくっていきましょう！  
 見 浪 亮 今回初めて中央執行委員に選ばれました。まだ、JAに入ってから二年目なので何も知らない私ですが、職場の皆さんのために頑張りたいと思います。今年一年よろしくお願いたします。  
 江 口 文 子 一年間お世話になります。今まで好き勝手に文句を言うばかりで、自分が何をしなければいけないのかに欠けていたように思います。執行委員に女性の方が他にいないのが残念ですが、“仕事は楽しく”をモットーに、少しでも皆さんの声を届けられたらと思っています。よろしくお願致します。  
 秋 山 淳 安心して働ける職場作りを、皆さんと共に進めていきたいと思っています。  
 湯 本 健 一 労組員の皆さんの意見や要望が、経営者側や他の労組員に届くような役目を果たしたいと思っています。  
 西 條 昭 一 誰かが『農協労連』第371号で言っているように、そんなに沢山給与を欲しいとは思わない。それよりも仕事に見通しが持て、安定した収入が維持されることで頑張れると思う。  
 山 口 崇 このたび、上越地域本部ブロックの執行委員となりました。労組の活動をまだ把握しきれていませんが、迷惑をかけないよう努力していきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。  
 飯 吉 久 巳 中郷支店に所属している飯吉です。今年、右も左もわかりませんが、中央執行委員として、皆さんのお役に立てよう頑張りたいと思います。  
 斉 藤 嘉 文 カーセンター上越、鴨島給油所、中央燃料センター、農機センター上越を担当しています。初めての中央執行委員ということで、何もわかりませんが、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。  
 小 林 力 13年度は、中郷妙高地区の支部長でした。今回、寺野出張所の方に移動しました。地域が変わっても目的は一緒、働きやすい職場を作りたい。役職にこだわらず、主張していくことは主張する。今後の農協の目指しているものは何か、労組として何をしたらよいか、学習会を設ける。臨時職員に対しても、労組加入をお願いしていきたい。  
 長 井 賢 支部の状況、意見、要望を把握して、労組活動に役立つよう取り組みます。  
 瀬 戸 伸 也 労組委員として初めて活動に参加することになりました。労組員の要望にできる限り応えられるよう、精一杯頑張りますので、ご支援よろしくお願いたします。  
 豊 田 聡 昨年に引き続き、書記長という大役を務めさせていただきましたことになりました。労組役員は、職場の仲間や組合員の後押し協力がなければいけませんし、労働組合活動は、役員だけがしていればよいというものでもありません。組合員一人一人が労働組合活動にもっと関心を持ち、積極的に参加いただければと思います。役不足ではありますが、今後ともよろしくお願いたします。  
 飯 田 達 雄 今年度もお世話になります。一人の「一歩」でなく、1,000人の「一歩」になるようガンバウ！！  
 小 林 栄 樹 農協に入って間もない私ですが、大役を任せられ責任の重みを感じます。自分なりに一生懸命頑張りますので、よろしくお願いたします。「義務を果たして、権利を主張しろ！！」の言葉を昔から聞いてきたので、農協全体として一つのテーマとして取り組んでいきたいと考えます。  
 山 田 謙 直江津東部支部、八千浦支店勤務の山田 謙です。  
 えちご上越農協を立ち上げて早、二年目迎え、労組としての真価が問われる大事な年になると自覚しています。執行部、執行委員だけではなく、各労組員一人一人の意欲、協力をいただきながら、一年乗り切っていこうと思います。どうぞ、よろしくお願いたします  
 内 藤 彰 頑張ります。

New face

吉澤 祥子 頸城支店	山崎 博之 妙高高原支店
金澤 洋文 有田支店	石田 美穂 新井支店
山崎 昌子 安塚支店	児玉 智也 頸北地域本部 営農生活センター
長井 一利 中央自動車整備工場	藤田 綾子 はまなす支店

物事の本質を理解するのは難しい、理解したからと言って正しい判断がどうかはさらに難しい。  
 最近よく耳にする言葉に、「危機」があります。よく団交の席上経営トップの口から、「職員は危機感が無い」「危機意識に欠けている」などの言葉が出てきます。確かに農協をとりまく環境は「危機的な状況」であることは間違いありません。この問題は、政府の構造改革と多国籍企業の思惑（勝ち組だけが優遇される）が一致した結果、日本の枠組みが大きく変わった（変えた）為で、まさにとりまく環境に起因するところが大きく、職員の自助努力も息切れ状態、焦燥感すら見受けられるようです。  
 協同組合の原点は相互扶助ですが、事業体として社会的にも自立した経営が求められる中、その弱い体質を補う為にある様々な法律や制度もその姿を大きく変化しました。農協は組合員が望む事業を行ってこそ、その存在意義があるわけで、そこに働く職員は組合運動の魁として、与えられた仕事をこなし組合員の恒久的な利益を守る役割を担っているはずなのですが、みなさんの日々の仕事はどうでしょう？ 02年度運動方針にあるように、学習の場としての労働組合運動の必要性は益々大きくなっています。労組の価値観は人様々ですが、1人々々その学習の場を利用することでその存在意義があるのではないのでしょうか。団結の旗の下、共に頑張りましょう。